

平成二十六年学力検査問題

国語

(一時間目 六十分)

注意

- 一 問題用紙と解答用紙、メモ用紙のそれぞれの決められた欄に、受検番号と氏名を記入しなさい。
- 二 問題用紙は放送による指示があるまで開いてはいけません。
- 三 問題は1ページから6ページまであります。これとは別に解答用紙とメモ用紙がそれぞれ一枚あります。
- 四 答えは、すべて解答用紙に記入しなさい。

| | |
|------|--|
| 受検番号 | |
| | |
| 氏名 | |
| | |

< 掲示用の資料 >

ひとつの番組ができるまで

① 構成 

② 撮影 

③  

④ 音入れ 

二 次の文章を読んで、1～7の問いに答えなさい。

三 次の【I】と【II】を読んで、1～5の問いに答えなさい。

四 次の【Ⅰ】～【Ⅲ】を読んで、1～5の問いに答えなさい。

【Ⅰ】

由、女なんぢにこれを知るを誨おしへんか。これを知るをこれを知るとなし、知らざるを知らずとなす。これ知るなり。

由、誨おし女なんぢ知し之を乎や。知し之を為す知る之を、不し知ら為す不し知ら。是は知る也なり。

【Ⅱ】

吾日わがに三たび吾が身を省みる。人の為ために謀はかりて忠ちゅうならざるか。朋友と交まじはりて信まことならざるか。習なまじははざるを伝つたへしか。

吾日わが三さん省しやう吾身わがみ為す人謀ひとまか而して不し忠ちゅう乎や。
与と朋友とも交り而して不し信まこと乎や。伝つた不し習なまじは乎や。

【Ⅲ】

学まなびて思おもはざれば則すなはち罔まがし。思おもひて学まなばざれば則すなはち殆あやふし。

学まな而して不し思おもハ則して罔まが思おも而して不し学まなバ則して殆あやふシ。

(『論語』による)

【注】

*由……孔子の弟子

*誨……教えること

*謀……相談にのって考えること

*忠……まごころを尽くすこと

*罔……物事の道理がよく分からないこと

*殆……危険であること

1 【Ⅰ】の書き下し文を参考にして、知之為知に返り点を書き入れなさい。

2 【Ⅱ】の朋友と交りて信ならざるかを次のように口語訳するとき、「」に当てはまる内容を十字以内で書きなさい。

「」とき、誠実さを失わなかったか

3 【Ⅱ】の習はざるを伝へしかの「習」の意味として適切なものを、次のア～エから一つ選んで記号を書きなさい。

ア 慣習 イ 習熟 ウ 風習 エ 習性

4 【Ⅲ】の思ひて学ばざれば則ち殆しは現代にも生きる教訓である。具体的にどのようなことを述べたものか、次のア～エから一つ選んで記号を書きなさい。

ア 自ら進んで疑問を解決しないと大成しない。
イ 世の中の動きに敏感でなくては取り残されてしまう。
ウ 新たに外から取り入れることがないと視野が狭くなる。
エ 自分で学んだことは実践しないと身につかない。

5 【Ⅰ】～【Ⅲ】について次のようにまとめた。後の問いに答えなさい。

| | |
|-----|----------------------|
| 【Ⅰ】 | 本当に知るとは「a」を明確に区別すること |
| 【Ⅱ】 | 様々な視点で自ら「b」すること |
| 【Ⅲ】 | 知識の獲得と思考の深化を「c」こと |

- (1) 「a」に適する内容を十五字以内で書きなさい。
- (2) 「b」に適する語句を漢字二字で書きなさい。
- (3) 「c」に適する語句を五字以内で書きなさい。

五 「本の世界を広げる」というテーマで、☒にある語を手がかりに、あなたが思っていることや考えたことを、後の

〈条件〉にしたがって書きなさい。

☒

| | | |
|-----|-----|-----|
| 知 識 | 筆 者 | 情 報 |
| 選 択 | 人 生 | 比 較 |
| 活 用 | 読 者 | 検 索 |

〈条件〉

- 1 題名は不要
- 2 字数は二百字以上、二百五十字以内
- 3 ☒にある語を用いても用いなくてもよい

